人とのつながりを広げ、豊かな心を育む

―地域の異世代の人たちとの交流を通して―

半田市立乙川幼稚園

1　実践のねらい

○　「絆づくり交流会議」で、地域のいろいろな世代の人と行事を計画し、共に活動することで、つながりをもつ。

○　地域の人に野菜作りや盆踊りなどを教えてもらうことで、尊敬や感謝の気持ちをもつ。

2　実践の内容

(1)　絆づくり交流会議

老人会、更生保護女性会、小学校など交流を予定している方たちと、どのようなねらいをもって交流会を行っていくのか、活動計画を話し合った。地域の方たちに本園の子どもの様子を伝えることで、具体的なアドバイスをいただくことができた。交流後には、子どもたちを交えて意見交換会をして感想や意見をいただき、今後の交流活動につながるようにした。

(2)　老人会との野菜作り、伝承遊び交流

ア　親子でピーマンを植えよう・・・６月＜年長児＞

毎年、夏野菜の栽培をしているが、今年は一人一鉢、夏野菜の世話をして、自分で育てた野菜を収穫する喜びを味わえるよう、ピーマンの栽培を計画した。そこで、老人会の方に植え方を教えてもらい、親子で苗植えをすることにした。

老人会の方の自己紹介後、苗の植え方の説明をしてもらい、各クラスに分かれて苗植えをした。保護者の中には初めての人もいて、土作りから苗の扱い方まで真剣に聞く姿が見られた。老人会の方に手を添えて教えてもらいながら、親子で鉢に苗を植えた。最後に全員で老人会の方にお礼を言い、毎日の水やりを忘れずにすることを約束した。

ピーマンの苗植え

イ　老人会の方を招いてピザパーティー・・・７月＜年長児＞

ピーマンの植え方を教えていただいた老人会の方に感謝の気持ちを伝えるため、収穫したピーマンを使ったピザパーティーに招待した。各クラスに老人会の方に入ってもらい、食パンにピーマンやチーズなどをトッピングし、ホットプレートで焼いた。出来上がるまでの間は触れ合い遊びをしたり、歌を歌ったりして交流を深めた。「もういいかい？」「もういいよ！」のかけ合いに合わせてホットプレートの蓋を開けると、保育室中にいいにおいが広がり、老人会の方たちと一緒に収穫したピーマンをおいしく食べることができた。

ピザパーティー

ウ　伝承遊びを教えてもらおう・・・６月＜年長児＞

核家族が多く、お年寄りとかかわる機会が少ない子どもたちにとって、老人会との交流は貴重な体験となる。昔の遊びや生活について話を聞き、一人ずつ触れ合い遊びをした。伝承遊びの本を参考にして、「こま」「けん玉」「トントン相撲」「おはじき」「千代紙」「紙

風船」「めんこ」を用意しておき、当日は遊び方を教えていただいた。手遊びや伝承遊びを通して触れ合ったり楽しい思いを共有したりしたことで、老人会の方に親しみをもつことができた。

(3)　土地の由来・盆踊りを学ぶ

ア　地域の昔を知ろう・・・５月＜年長児＞

春の遠足で乙川白山公園に行き、「ひげじい」こと半田市観光ガイド協会の方から公園にある石碑や、近くにある西ノ宮池についての話を聞いた。池の周辺は海だったことや恐竜が住んでいたこと、魚や貝を食べ少しずつ人が住むようになり、今のように乙川地区にたくさんの人が住むようになったことなど、子どもたちは目を輝かせ、「ひげじい」の話に聞き入った。

イ　親子で盆踊りを教えてもらおう・・・７月＜全学年親子＞

地域の盆踊り大会に向けて、更生保護女性会や地域の方に盆踊りを教えていただいた。浴衣の着付けを教えてもらい、浴衣姿で「炭坑節」「半田よいとこ音頭」「こぎつねたちの踊り」の３曲を踊った。「こぎつねたちの踊り」は半田市出身の童話作家新美南吉の作品「ごんぎつね」「手ぶくろを買いに」をモチーフにした曲で、子どもたちが大好きな曲である。８月に行われる地域の盆踊り大会に期待をもつことができた。

地域の方と盆踊り

(4)　小学生と花の苗植え体験

夏の花の苗を一緒に植えよう・・・７月＜年長児＞

近くの乙川東小学校の緑化委員の５年生が幼稚園にサルビアやマリーゴールドの苗を運んできてくれた。小学生が手本を見せながら土の被せ方を教えてくれたり、手を添えて一緒に植えたりしてくれた。一緒に苗植えをする中で、「これ土をかけてもいい？」「次はどれ？」など、自分たちから小学生に声をかけるようになった。帰りに「ありがとう」「また来てね」など、親しみと感謝の気持ちをもって、手を振りながら声をかける姿が見られた。

小学生と一緒に花の苗植え

３　実践の成果や課題

- 地域の方に植物栽培の方法や遊びなどを教えていただいたり、一緒に遊んだりする中で、「楽しかった」「また一緒に遊びたい」などの気持ちをもつことができ、子どもたちに異世代の人たちとのつながりの基礎ができてきた。
- 交流の中で「ありがとう」「また遊ぼうね」など、子どもなりの言葉で感謝の気持ちが表現できるようになり、心の育ちが感じられた。
- 絆づくり交流会議で活動計画を立てることで、地域の方々も園児との交流をより楽しんでくださり、絆づくりに積極的に参加していただけた。
- 保護者に実際に活動に参加してもらったり、子どもたちの交流の様子を伝えたりすることで、地域と連携して子どもたちを育てていく大切さの一端を伝えることができた。
- 今後も計画的に交流の機会をもち、地域の方たちとの絆を深めながら、子どもたちの豊かな心を育む交流をしていきたい。